問題①

72歳男性。慢性C型肝炎のフォローのため、受診した。定期CT検査にて膵尾部に腫瘤を指摘されている。

意識は清明。

【身体所見】

身長 156.3cm、体重 66.1kg、血圧 126/72mmHg、心拍数64/min

頭部：眼球黄染なし、貧血なし

心音：心雑音なし、呼吸音：整、雑音なし、下肢：浮腫なし

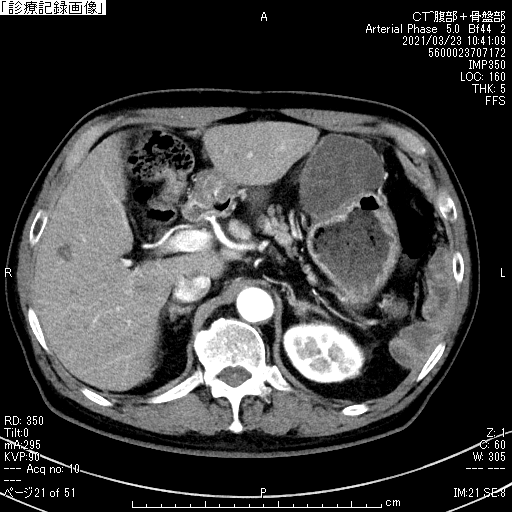
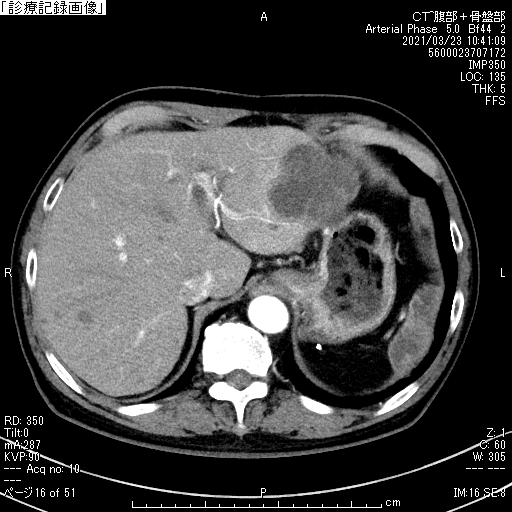
【血液所見】

血漿総蛋白 7.1 g/dL , Alb 4.0 g/dL, 血漿A/G比 1.29, CK 198 U/L, AST 19 IU/L, ALT 11 IU/L, FIB4 index: 1.32, LD 265 IU/L, ALP-IFCC 98 U/L, γ-GT 15 IU/L, ChE 259 IU/L, アミラーゼ 71 IU/L, クレアチニン 0.98 mg/dL, eGFR: 58.12, 尿酸 6.3 mg/dL, 尿素窒素16 mg/dL, Na 140 mEq/L, K 4.3 mEq/L, Cl 107 mEq/L, T-Bil 0.6 ng/dL, D-Bil 0.5 ng/dL

CEA 9.7ng/mL, AFP 2ng/mL, CA19-9 508U/mL, PIVKA Ⅱ 15.4ng/mL

【画像所見】

別途CT像（A）を示す。



A

問１　現時点で認められる所見として最も適当なものはどれか

1. 腹水貯留
2. 胆管の拡張
3. 肝硬変の進行
4. 胆嚢の腫大
5. 肝予備能良好

問２　治療法として最も適当なものはどれか。

1. 肝切除
2. 腹水穿刺
3. 内視鏡的胆道ドレナージ
4. 経皮経肝胆嚢ドレナージ
5. 化学療法

解答

問１　e

問2　e

問題②

56歳女性。検診にて血清アミラーゼ高値CA19-9高値を指摘され、精査加療目的のため、大学病院を受診した。

【現症】

身長 158.7cm、体重 37.7kg、血圧 101/86mmHg、心拍数127/min

意識清明

頭部：眼球黄染なし、貧血あり

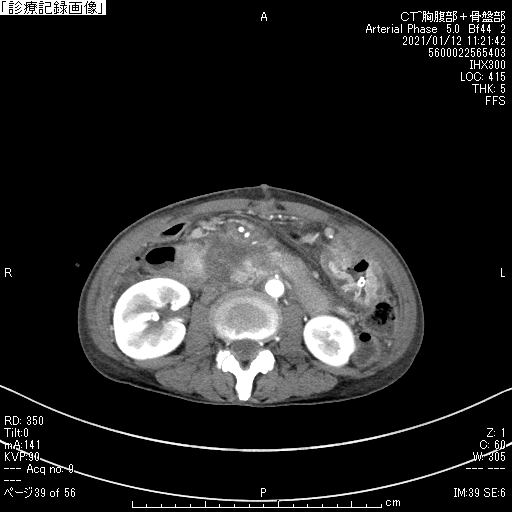
心音：心雑音なし、呼吸音：整、雑音なし、腹部：下腹部軽度膨満あり、心窩部に軽度圧痛あり

下肢：浮腫なし

神経学的異常を認めない。

【血液検査】

WBC 7900 /μl, nautro 31.6 %, lymph 4.4%, eosino 9.3%, RBC 253×104 /μl, Hb 7.9 g/dL, Ht 23.7 %, Plt 17.2×104 /μl, AST 44 IU/L, ALT 25 IU/L, LDH 473 IU/L, γ-GTP 67 IU/L, T-Bil 0.1 ng/dL, D-Bil 0.4 ng/dL, ChE 173 IU/L, アミラーゼ 556 IU/L, TP 6.7 g/dL, Alb 2.7g/dL, BUN 19 mg/dL, Cre 0.33 mg/dL, UA 3 mg/dL, Na 138 mEq/L, K 4.7 mEq /L, Cl 35 mEq/L, CRP 0.23 mg/dL, BS 107 mg/dL, CEA 8.1 ng/nL, CA19-9 33519 U/mL

【画像所見】CT像（B,C）を以下に示す

B　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　C

問１　最も考えられる診断はどれか

1. 原発性肝細胞癌
2. 膵嚢胞
3. 膵癌
4. 自己免疫性膵炎
5. 総胆管結石

問２　本症例の治療法として最も適当なものはどれか

1. ステロイド投与
2. 膵頭十二指腸切除術
3. 内視鏡的胆管結石除去術
4. 膵全摘術
5. 化学療法

治療ののち3ヶ月後のCT像を以下に示す（D,E）

D E

問３　今後の治療として相応しくないものはどれか。

1. 緩和療法
2. 化学療法
3. 放射線療法
4. 抗生剤投与
5. 膵全摘術

解答

問１　ｃ

問2　e

問３　e